



プレーパークニュース

NO. 9

プレーパーク体験会「みんなで創る“プレーパーク” ～子どもも大人も一緒になって遊び空間を創っちゃおう！～」を実施しました！

- ◆日時 令和5年11月23日(木)午前10時から午後4時まで
- ◆場所 平成こども塾
- ◆講師 萩原ナバ裕作氏とプレーリーダー3人
- ◆参加者 子ども15人、大人15人、幼児2人

講師について



【講師(萩原ナバ裕作氏)プロフィール】

岐阜県立森林文化アカデミー教授
学生時代、国内のインタープリターの先駆者である小林毅氏からの声掛けでインタープリターの道へ。その後、オーストラリアに渡りエコツアーガイド、野生動物番組制作を経てタスマニア島で家族とのんびり永住していたら急遽、小林毅氏に誘われ2007年現職に就く。

野外自主保育「森のだんごむし」や「みのプレーパーク」「morinos (モリノス)」などの言い出しっぺ。共著に「インタープリタートレーニング」(ナカニシヤ出版)。

スケジュール

午前10時00分	挨拶、講師紹介	午後3時30分	プレーパーク体験終了 ふりかえり(大人)
10分	アイスブレイク(大人) プレーパーク体験開始	50分	アンケート記入
12時00分～	昼食(焚き火利用)	午後4時00分	終了
13時00分頃	お話し会 「プレーパークとは」		

🌳 体験会の様子 🌳



子どもたちは好きなことをして遊ぶ





お昼ご飯♪



大人だけでナバさんからプレーパークの話とふりかえり



体験会での話し

- ・「自分の責任で自由に遊ぶ」ことが大切。
- ・ 危険なアソビが楽しいアソビ
→ 大げがしないように見守る。大人が子どもに制限をかけないことが大事。
- ・ いかにか保護者が手や口を出さずに子どもを見守ることができるか。

参加者アンケートまとめ

【こども】 回答 12人 / 15人

とっても楽しかった。来年もまたやってほしい。たき火体験ができて良かったし、いろいろな人と関わって良かった。火をつけるときは、下から空気を入れることを学んだ。ロープで竹を登れることを学んだ、楽しかった(複数)。火を使えたのが良かった、楽しかった(複数)。工作が自由にできて良かった(複数)。

【大人】 回答 12人 / 15人

自分自身で考えて工夫して遊んでいた(複数)。また参加したい。ロープを竹に結んで上に登っていくのには驚いた。今の生活ではあまり体験できないことができ、子どもが自分でいろいろとやっていたことが良かった。好きなだけ火遊びができた。ホットサンドがおいしかった。自然体験は本当に素晴らしいと思った。もっと実施回数を増やしてほしい(複数)。何もなくても自分で考えて遊ぶ、日常当たり前のことができていない自分(親)と子に気づいた。子どもへの声かけや大人達へのアドバイス・ふりかえりなどの時間の取り方等が勉強になった。

講師関連情報

- 岐阜県立森林文化アカデミーURL <https://www.forest.ac.jp/>
- 森林教育総合センター(モリノス)URL <https://morinos.net/>

お知らせ 「プレーパークニュース」バックナンバー

プレーパークについての活動を記録したニュースレター「プレーパークニュース」を市のホームページからご覧いただけます。

[長久手市役所ホームページ](#) > [子育て・教育](#) > [平成こども塾](#) > [プレーパークニュース](#)

【問合せ先】 〒480-1311 長久手市福井 1590-50 長久手市平成こども塾
☎:0561-64-0045 e-mail:kodomojuku@nagakute.aichi.jp